

生誕170周年記念

日本近代法学の祖

箕作麟祥

憲法、民権、権利、不動産、国際法……
多くの法律の言葉が、
麟祥から始まった――

会期…10月8日(土)～11月6日(日)

開館時間…9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日…月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日

会場…津山洋学資料館 企画展示室

主催…津山市教育委員会

後援…山陽新聞社・津山朝日新聞社





平成 28 年度津山洋学資料館秋季企画展

生誕170周年記念

日本近代法学の祖 箕作麟祥

箕作麟祥は、津山藩医で洋学者として名高い箕作阮甫の孫として、1846（弘化3）年に津山藩上屋敷で生まれました。生後間もなく父省吾を亡くし、母ちまも奉公に出たため、阮甫のもとで育てられ、もともとよくその性格を受け継いだといわれます。

21歳でパリ万国博覧会に派遣された徳川昭武に随行し、この際独学でフランス語を習得したことで、帰国後明治政府からフランスのナポレオン法典の翻訳を命じられます。そうして刊行した『仏蘭西法律書』は、日本にはじめてヨーロッパの近代法の全文を紹介し、その後の法典編さんに貢献しました。

「民権」や「動産」「不動産」など多くの法律の用語を考案し、「憲法」を現代用いる意味で使ったのも、麟祥が最初です。また、民法をはじめとする各種法律の制定に携わり、日本近代法学の祖とも称されているのです。

本年、生誕170周年を迎えるのにあわせ、麟祥の生涯と業績を紹介します。



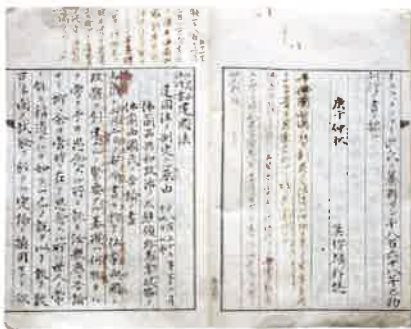
元服した頃の肖像写真
箕作麟祥ガラス板写真
幕末頃
(箕作家資料)



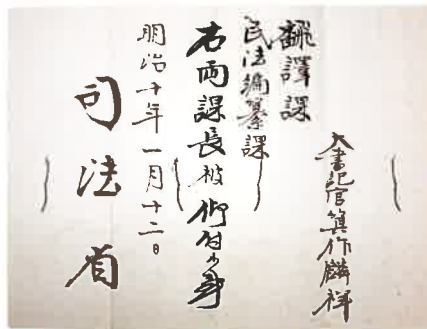
パリ滞在中の記念写真
箕作麟祥肖像写真
1867（慶応3）年
(箕作家資料)



ヨーロッパ滞在中の記録
「覚帳」箕作麟祥 筆
1867（慶応3）年
(国立国会図書館寄託・箕作家資料)



『仏蘭西法律書』の自筆原稿
「建国法」箕作麟祥 筆
1870（明治3）年
(館蔵)



民法の編さんに尽力
翻訳課民法編纂課両課長辞令
1877（明治10）年
(国立国会図書館寄託・箕作家資料)



日本で最初の博士号
法学博士学位記
1888（明治21）年
(国立国会図書館寄託・箕作家資料)

- 開館時間／9:00～17:00（入館は16:30まで）
- 休館日／月曜日（祝日の場合はその翌日）祝日の翌日
（会期中の休館日：10/11・12・17・24・31, 11/4）
- 入館料／一般300円、高校・大学生200円
（常設展示と共通・30名以上の団体は2割引）

津山洋学資料館
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING
〒708-0833 岡山県津山市西新町5
TEL:0868-23-3324 FAX:0868-23-9864
URL: <http://www.tsuyama-yougaku.jp>
e-mail: yougaku@city.tsuyama.okayama.jp



交通のご案内

- ・JR津山駅から東循環ごんごバス南回り線で12分、西新町下車徒歩2分
- ・中国自動車道 津山ICから車で10分・院庄ICから車で15分